

石屋のイロハ(3)

今回は、石材の丁場(採石場)の話をしたしたいと思います。

丁場の大半は険しい山に有り、採石を行う為だけに道を切り開いて行く様な所も多いです。まれには町に近い所もあったり島全体が石山と言える瀬戸内海の丁場などもあります。石の区別に関しては、例えば「御影石」と名の付く石でも産地が異なると石の結晶・色目・硬さ等の特徴の違いから「〇〇石」と呼び名が区別されています。また同じ一つの山の丁場でも(つまり採れる石は同じです)採石する場所によって組成の結晶の大きさが異なり、色の濃淡に違いが出る事があります。山全体からみて、今どの位置で採石しているかを知る事が大変重要だと思います。

先日取引先の中国福建省の山を見に行き、日本の石屋さんは採石場視察に来ますか?と尋ねてみたところ、私を含めて3~4人との返事でした。石屋はお客様の代わりとなって御希望にあった石を選択するという事も大切な仕事です。その為には耳からの情報だけでなく、丁場に足を運び、山で石を割り採石している人と直接話をする等、自分の目で確かめ、特徴や情報を掴んでおくことを心がけねばと考えています。



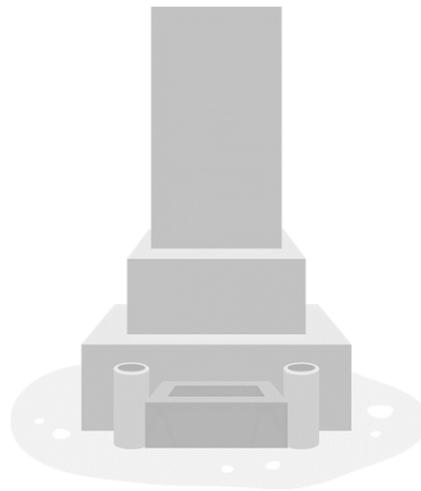
↑茨城県笠間市
稲田御影石の丁場写真



↑中国福建省長泰県
G654長泰の丁場写真

【齋藤 繁樹】

この記事は諸事情によりHP掲載版では削除致しました。



暮らしに石を(3)



「ねじ梅」と「葉っぱ」のお皿です。葉っぱは葉脈もあります。お茶菓子等にいかがでしょうか。



石のお皿

お皿と言えば陶器やガラス、金属が一般的ですが、石のお皿も味わいがあります。

編集後記

今号もお読みいただきありがとうございました。今回から編集長を務めます。慣れない編集作業でしたが、読み難くなければ幸いです。冬太りが全く解消しませんが、努力もしていないので仕方ない今日この頃です。次号は4月頃の発行予定です。ではまた。

【齋藤 勇介】

このニュースレターに関するお問い合わせ・ご意見・ご要望はこちらまでお願いします。お届け先の変更や、ニュースレター送付不要の際もお知らせいただければ幸いです。(担当: 齋藤 勇介)

(有) 齋藤石材店 〒950-3321 新潟市北区葛塚4804 Tel:025-386-3491 Fax:025-386-3493
E-mail:saitougs@beach.ocn.ne.jp ホームページ:http://www.saitougs.com/

齋石季報

平成30年 冬号
(第4号)

(有)齋藤石材店
新潟市北区葛塚

**ごめんください。皆さんなじなお正月でしたか?
昔から「冬来たりなば春遠からじ」と言います通り、春は意外と
すぐに来るものですよ。寒さに耐えながら春を楽しみに過ごしましょう。**

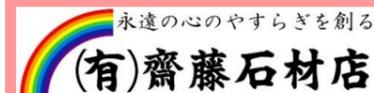


平成30年、明けましておめでとうございます

創業明治25年、昨年で125年を迎える事ができました。これも偏に地域の多くの皆様方のお陰と、改めて心より感謝申し上げます。平成生まれの若い人が新しい時代の家族を作る世となり、来年には元号も変わるなど、急速に社会が変化してゆく中、石屋も情報社会の波に揉まれております。

石屋といえばお墓、だけではない石の多才な魅力をこのニュースレターを通じて発信していけたらと思います。その為にも社員全員でさらに技能を磨き、お客様の御要望に応えられるよう精進してまいります。これからも宜しくお願い申し上げます。

【齋藤 繁樹】



(有)齋藤石材店

ホームページ: <http://www.saitougs.com/>
E-mail: saitougs@beach.ocn.ne.jp

齋藤石材店 新潟 で検索

本社・工場

新潟市北区葛塚(正尺)4804

日本海沿岸東北自動車道
豊栄新潟東港I.C.すぐ近く

Tel: 025-386-3491

Fax: 025-386-3493



太平店

新潟市東区太平2丁目1-31

国道113号沿い
新潟空港の目の前です

Tel/Fax:

025-275-9638



社員紹介 & 新年の抱負

- 石材施工1級技能士
- お墓ディレクター



齋藤 繁樹

古くからの伝統の技を受け、次代へ確実に伝え、なお研鑽し、要望に応えられる様努める。

今まで覚えた技術のスキルアップと新しい技術の習得。

お客様に「綺麗になった」と喜ばれるような丁寧な仕事をしたいと思っています。

今年も良い一年に出来る様に何事にも向上心を持って取り組んでいきたい。



中山 尚三



伝井 一弘

私が入社して四十数年が経ちました。今年も健康と怪我に気を付けて日々一杯頑張ります。

どんな作業もスムーズにこなしていける様に努める。あとは新しい体制ができてサポート出来る様に努める。



谷澤 誠



小柳 貴志

初めてやる仕事にもこれまでの経験を活かし、スムーズに仕上げられる様にしたい。

煩雑な書類仕事等、先延ばしにしないで頑張る。



齋藤 勇介

第一にお客様の為に出来る事を。第二に社員全員の為に出来る事を常に考えて行動する様努めます。

お客様のニーズにこたえる商品を作りたいと思っています。



齋藤 大悟



齋藤 美代子



佐々木 覚

秋のイベント出展報告 『2017北区秋の祭典 キテ・ミテ・キタク』に出展しました！

去る2017年11月23日(祝)に開催された2つのイベント、キテミテキタクには齋藤石材店として、技のにぎわいフェスタには県石匠の一員として出展して参りました。両イベント共に展示・販売と石に触れあって体験できる内容で開催し、多くの入場者の皆様に石を楽しんでいただけて本当に良かったです。この「石に触れあった経験」が少しでも皆様の心に芽吹くといいな...と思ってこれからも出展致します。ここにその時の様子を一部ではありますが写真で報告させていただきます。



『2017北区秋の祭典 キテ・ミテ・キタク』 新潟競馬場
石材加工製品の展示・販売、お墓・仏事相談コーナーのほか、石を使ったお遊び(石積み&石の絵付け)を開催しました。

『にいがた・技のにぎわいフェスタ2017』 新潟市産業振興センター
県石匠(新潟県石材商工業協同組合)の一員として出展し、石材加工の実演・体験と作品の展示・販売を開催しました。

冬～春にかけてはイベントの予定がございませんが、決まり次第また追って告知させていただきます！

宝塔を作りました！

石造りの宝塔とは
今回当社で制作したこの宝塔は「石を材料として作られた仏塔」、石塔の一つです。仏塔とは仏法の表徴であり、釈迦の墓でもあります。平安時代、弘法大師の開いた真言密教が、それまで一般的であった中国から伝わった形の塔ではなく、仏教の原点であるインドの影響を反映した「伏鉢型の塔身をもつインドのストウーパ(インドにある釈迦の墓)」に近い宝塔を伝えました。この宝塔は鎌倉・室町時代に全国に広まりました。
この宝塔などの伝統的な石塔は、現在では石像美術品としても取り扱われます。是非一度ご覧いただければ幸いです。



インドにある釈迦の墓(ストウーパ)

昨年末に、うちの職人みんなで作った宝塔(茨城県産稲田石使用)です。以前報告した五輪塔と同じく、全て手加工で仕上げました。



「中国の今」を視察して来ました！

平成29年12月9日～13日の5日間、社長と専務が中国福建省の廈門(アモイ)市や泉州市を訪問し、取引先の工場や原石の採石場を視察して来ました。中国の文化は私たちの日常からは想像が出来ないほど急速に変化し続けております。その実像を自分の目で確認し、それをお客様に伝える事は、中国産の石材も扱っている事から何よりも重要だと考えております。ほんの一部ではありますが、今回中国を訪問して感じた事を写真と共にご紹介致します。



G603(白御影石)の閉山した丁場。採掘できない様に水が張ってある。看板は「盗掘」と「盗泳」を禁止。

新潟県技能競技大会 1級1位受賞！

平成29年12月5日、当社のホープ齋藤大悟が新潟県職業能力開発協会の主催する「平成28年度新潟県技能競技大会 石材加工作業の部」にて1級1位を受賞致しました。今後も職人一同日々研鑽して参りますのでよろしくお願い致します。



福建省の原石の鉱山は現在「閉山ラッシュ」です。まだまだ良質な石材が採れる鉱山でも政府の指示で次から次に閉山しています。



G654長泰(グレー御影石)の丁場。平成29年12月31日で閉山予定の為、最後の採掘ラッシュの真っ最中。岩盤を大きな刃で切って割出す。原石は1個約5～8トン程。過酷な山道を運搬するトラックは過積載でタイヤが蒸気を揚げています。(P4に関連記事)

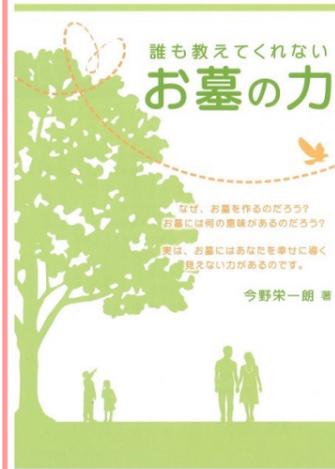


一時期は「稼げる職」であった石材業も、今の中国では「儲からない訳ではないがきつくて体を壊しかねない職」になった為、辞めた工場も見かけられた。操業している工場では職人の健康面の配慮が見られた。(少し前まで粉塵マスクも付けていなかった。)



街中にモラル啓発の看板が数多くある。清掃員が居る道端からはゴミが無くなっていった。
ここでは紹介しきれませんが、社長と専務からは皆様にご説明させていただき準備が整っております。是非今後お会いした際にはお話をいただければ幸いです♪

誰も教えてくれないお墓の力(ちから)



今野栄一郎 著

「なぜ、お墓を作るのだろう？」
「お墓には何の意味があるのだろう？」

実は、お墓にはあなたを幸せに導く見えない力があるのです。

この様な書き出しで始まるこの本は全40ページの小さな冊子です。しかし、この本には私たちが幸せに導いてくれるお墓の持つ不思議な力がとても分かり易く書かれております。今後内容をピックアップして少しずつ紹介していきたいと考えております。もし読んでみたいという方がおられましたら、どうぞお気軽にご連絡ください。